

10/27~11/9の
読書週間に

ちょっと気になる出版社の本



個性的な出版社の本とのかけがえのない出会いをしてみませんか？

(出版年順、請求番記号順)

タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号	館
□ミシマ社 一冊入魂					
おそろおそろ育休	西 靖 // 著	ミシマ社	2023	599.0 11-6	東
東京あたふた族	益田 ミリ // 著	ミシマ社	2022	914.6 6-2	中
書こうとしない「かく」教室	いしい しんじ // 著	ミシマ社	2022	910.2 6-3	西
中学生から知りたいウクライナのこと	小山 哲 // 著 藤原 辰史 // 著	ミシマ社	2022	238.6 6-8	南
ぼけと利他	伊藤 亜紗 // 著 村瀬 孝生 // 著	ミシマ社	2022	369.2 10-2	中
ええかげん論	土井 善晴 // 著 中島 岳志 // 著	ミシマ社	2022	596.0 11-4	中
仲野教授の笑う門には病なし！	仲野 徹 // 著	ミシマ社	2021	914.6 6-2	中
□ライツ社 自分たちが熱狂したものを、より多くの人に					
マイノリティデザイン 「弱さ」を生かせる社会をつくろう	澤田 智洋 // 著	ライツ社	2021	369.0 10-3	東
認知症世界の歩き方 認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら？	筧 裕介 // 著 認知症未来共創ハブ // ほか監修	ライツ社	2021	493.7 12-5	子
僕たちはもう帰りたい	さわぐち けいすけ // 著	ライツ社	2019	726.1 6-9	中
□現代書館 青春一回・知恵一生！					
「父の支配」を乗り越えた時 娘と名字	沖藤 典子 // 著	現代書館	2022	910.2 2-2	西
ロシアのなかのソ連 さびしい大国、人と暮らして戦争と	馬場 朝子 // 著	現代書館	2022	238.0 6-7	中
家族は他人、じゃあどうする？ 子育ては親の育ち直し	竹端 寛 // 著	現代書館	2022	599.0 11-6	西
□青弓社 時を超える本					
ケアと家族愛を問う 日本・中国・デンマークの国際比較	宮坂 靖子 // 編著	青弓社	2022	367.2 1-3	南
「テレビは見ない」というけれど エンタメコンテンツをフェミニズム・ジェンダーから読む	西森 路代 // [ほか著] 青弓社編集部 // 編著	青弓社	2021	699.6 1-3	南
フェイクニュースの生態系	藤代 裕之 // 編著	青弓社	2021	361.4 5-5	東
多様性との対話 ダイバーシティ推進が見えなくするもの	岩淵 功一 // 編著	青弓社	2021	361.8 5-9	子
モテないけど生きてます 苦悩する男たちの当事者研究	ぼくらの非モテ研究会 // 編著	青弓社	2020	367.5 3-1	子
□彩流社 豊かな人生をおくるために					
非暴力を実践するために 権力と闘う戦略関西学院大学研究叢書	ジーン シャープ // 著 谷口 真紀 // 訳	彩流社	2022	316.4 5-5	中
ひきこもりのライフストーリー	保坂 渉 // 著	彩流社	2020	367.6 8-8	東
□三輪舎 「オルタナティブ」から「メジャー」へ					
父親(オトン)が子どもとがっつき遊べる時期はそう何年もない。	布施 太朗 // 著	三輪舎	2016	367.3 3-1	西
赤ちゃんにきびしい国で、赤ちゃんが増えるはずがない。	境 治 // 著	三輪舎	2014	599 12-4	子
□猿江商會 東京・深川のひとり出版社					
ふたりは同時に親になる 産後の「ずれ」の処方箋	狩野 さやか // 著	猿江商會	2017	599 11-6	中
主夫になってはじめてわかった主婦のこと	中村 シュフ // 著	猿江商會	2015	590 3-1	西